

## 町内の知人の死を悼む

〇〇さん、今あなたのご霊前で、町内会を代表して追悼の言葉を申し上げます。

ついこの間までお元気だったのに、本当に急にお亡くなりになり、同年配の私は、悲しみのあまり申し上げる言葉もありません。

〇〇さん、あなたは、ご自身のお仕事がお忙しい中、よく町内会の仕事に力をそそがれました。

ことに、あなたは若いころジョギングで体を鍛えたといって、町内会主催の早起会にはたいへんご熱心でした。

去年の夏、早起会の閉会式の時、あなたは集まった子供達に、すばらしい話をされましたね。

「君たちは毎朝この会場に集まり、みんなニコニコとしながら、おはよう！と挨拶することを続けてきましたね。

この明るい挨拶は、これからもずっと忘れないように。

それからもう一つ・・・この会場でジョギングを始める前に、足をけがしないようにゴミをみんなで拾ったね。

「これは人のためになる立派な行いだ！挨拶と、人のためになること、この二つがおじさんのプレゼントだ」と・・・。

このときのあなたの声が、いまだに私の耳に残っています。

あなたの言われるように、人のためにすること、つまり社会奉仕があなたの日頃のモットーでした。

目をつぶると、ふと早起会でのあの運動着姿が浮かんでまいります。

その姿と霊前のお写真がダブってきて、また新たな涙がわき上がってくる思いです。

どうか〇〇さん、安らかにお眠りください。心からご冥福を祈ります。